

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	05-05-01	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	地域図書館施設の管理	部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	中野		
		担当者名	黄幡	内線	436		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-01-01	管理費					
事務事業の種類	○新規事業（○29年度 ○28年度） ○建設事業 ●それ以外の継続事業						
開始年度	●昭和 ○平成 25年度 根拠法令等 建築基準法等						
終期設定	○有 ●無 年度						
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準 計画区分 ○計画 ●非計画						
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進				
目的	図書館施設の適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、安全面での利用者サービスの充実を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	区立図書館（4館）とサービスステーション（2カ所）の保守及び維持管理業務 ・南千住図書館：南千住6-63-1／敷地面積2,723.96㎡／延床面積2,686.10㎡（建物合計5,270.69㎡） ・尾久図書館：西尾久3-12-12／敷地面積1,328.94㎡／延床面積1,201.82㎡ ・町屋図書館：町屋5-11-18／都営住宅敷地内／延床面積1,045.44㎡ ・日暮里図書館：東日暮里6-38-4／敷地面積893.92㎡／延床面積1,369.66㎡ ・汐入図書館サービスステーション：南千住8-12-5-109・113・114／延床面積124.07㎡ ・冠新道図書館サービスステーション：西日暮里6-25-14／延床面積181.44㎡						
経過	・昭和37年 3月荒川図書館開館、昭和46年 9月尾久図書館開館、昭和48年 4月旧南千住図書館開館、昭和51年10月町屋図書館開館、昭和54年 6月日暮里図書館開館 ・平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施 ・平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施 ・平成16年 9月 地域館の機械警備を実施 ・平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長 ・平成19年 9月 汐入サービスステーションを開設（平成22年12月児童拡張、平成25年10月配架拡充） ・平成21年11月 冠新道サービスステーションを開設 ・平成25年 4月 地域館に夜間警備員を配置 ・平成26年 3月 地域館に防犯カメラを設置 ・平成28年12月 荒川図書館閉館						
必要性	図書館全体に係る保守・維持管理業務であり、図書館サービスを提供するうえで不可欠である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 専門知識のある業者に保守点検、維持管理業務等を委託して実施している。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額		58,795	58,456	65,168	64,042	80,333	85,525	71,917
決算額（29年度は見込み）		53,655	57,758	62,204	62,892	75,052	73,981	71,917
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	入館者数（人）	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,288,224	1,271,337	1,212,764	1,600,000
	光熱水費（千円）	25,175	28,843	29,101	31,108	29,594	25,837	27,743
	保守管理委託費（千円）	25,026	25,391	29,232	27,806	25,026	29,853	25,584

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	電気・ガス・水道等	29,740	需用費	電気・ガス・水道等	25,937	需用費	電気・ガス・水道等	27,939
役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	4,103	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	4,215	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,705
委託料	各館設備保守業務委託	27,629	委託料	各館設備保守業務委託	29,852	委託料	各館設備保守業務委託	25,584
使用料等	A E D 賃借	13,580	使用料等	A E D 賃借	13,975	使用料等	A E D 賃借	14,689

行政コスト計算書	勘定科目			27年度	28年度	差額	行政収入	勘定科目			27年度	28年度	差額
	行政費用	給与関係費		-	7,569	-		地方税		-	-	0	-
		物件費		-	73,981	-		国庫支出金		-	-	0	-
		維持補修費		-	0	-		都支出金		-	-	0	-
		扶助費		-	0	-		分担金及び負担金		-	-	0	-
		補助費等		-	0	-		使用料及び手数料		-	-	0	-
		減価償却費		-	42,771	-		その他		-	-	1,529	-
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		-	0	-		行政収入合計(a)		-	-	1,529	-
		賞与・退職給与引当金繰入額		-	159	-		行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	-	▲ 122,951	-
		その他行政費用		-	0	-		金融収支差額(d)		-	-	0	-
		行政費用合計(b)		-	124,480	-		通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	-	▲ 122,951	-
		特別費用(g)		-	0	-		特別収入(f)		-	-	0	-
備考				-	0	-				-	-	▲ 122,951	-
				-	0	-				-	-	▲ 122,951	-

指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
①	入館者数(人)		1,288,224	1,271,337	1,212,764	1,600,000	1,800,000	ゆいの森あらかわ及び各図書館の入館者数の総計
	区民一人当たりの図書館運営経費(円)					1,270	1,000	(ゆいの森あらかわ事務管理費+地域図書館課管理費)÷区民総数
	おはなし会の参加者数		5,266	4,931	5,092	5,100	5,900	ゆいの森あらかわ及び各図書館のおはなし会参加者の総計

問題点・課題	・光熱水費の節約や設備の適正な維持管理に努めるとともに、保守点検結果等を活用し、突発的な問題を未然に防ぐ。 ・地域図書館の図書館全体の維持管理業務の効率化を考慮した契約の更新を検討する必要がある。							
	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 他区の状況 全区で実施							

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	ゆいの森の開館に伴い、維持管理業務の適正な契約方法を検討した。	図書館全体の維持管理業務の効率化に配慮しつつ、各館の適切な維持管理に努め、点検結果をもとに適切な修繕を実施した。	各館のあり方を踏まえ、維持管理、保守点検業務の長期継続契約の方法を検討していく。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
継続	継続	図書館の管理運営にかかる事業であり、前年度並の決算額を目指し、効率的な維持管理業務の執行に努め、継続して実施する。

況 議 会 質 問 状 (要 旨)	
-------------------	--

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	05-05-02	戦略プラン	○協働	●業務	○財務	○人事		
事務事業名	特色ある地域図書館の推進	部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	中野	担当	436		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-02-02	図書館資料費	01-02-03	読書活動推進事業費					
事務事業の種類	●新規事業（●29年度 ○28年度） ○建設事業 ○それ以外の継続事業								
開始年度	○昭和 ●平成 29年度 根拠 荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方、荒川区立図書館資料収集要綱								
終期設定	○有 ●無 年度 法令等								
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準 計画区分 ○計画 ●非計画								
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成	施策	03	「読書のまちづくり」の推進
目的	館ごとに地域の特色を踏まえた資料収集を充実し、読書の楽しみを味わうことと併せ、生涯学習の支援と生活に役立つ図書館を目指すとともに、地域交流の輪をさらに広げる拠点となることを目的とする。								
対象者等	図書館利用者								
内容	【特色ある蔵書】 - 荒川区立図書館資料収集要綱及び荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方に基づき、生涯にわたる読書活動を推進するため、地域特性や多様化・高度化するニーズを的確に把握し、積極的に資料を収集し情報を提供する。 【新たな事業展開】 - 発信とアウトリーチ：出張おはなし会等の開催、街なか図書館等 - 心地より居場所づくり：多様な閲覧席、子どもから高齢者までの居場所等 - 区民参加の促進：図書館ボランティアの育成、専門家によるワークショップ等								
経過	・平成29年度 地域図書館課設置								
必要性	荒川区全体が「読書のまち」となるよう読書環境の整備をするために必要な事業である。								
実施方法	(1直営) (直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ●臨時職員)								

(単位：千円)

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額		82,008	79,671	75,335	75,147	77,158	75,067	2,729
決算額（29年度は見込み）		80,611	77,515	73,774	74,692	75,849	71,366	2,729
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	図書雑誌蔵書冊数(冊)*地域館分	752,184	760,077	769,836	766,826	722,573	542,975	600,000
	個人総貸出点数(点)*地域館分	2,009,675	1,959,488	1,910,884	1,882,661	1,904,021	1,465,239	1,200,000
	特色ある事業の実施	—	—	—	—	—	—	12
	入館者数(人)	1,343,444	1,311,706	1,251,384	1,288,224	1,271,337	1,212,764	1,600,000

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	講演会等講師謝礼	670	報償費	講師謝礼等	728	報償費	講師謝礼等	176
需用費	消耗品、印刷製本費	3,927	需用費	資料、消耗品等	4,003	需用費	資料、消耗品等	2,553
需用費	資料等購入費	70,353						
役務費	筆耕等	32						
委託料	アンケート調査委託	680						
使用料等	会場使用料	46						
備品購入費	紙芝居架他	141						

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	給与関係費	-	195,814	-	地方税	-	0	-
	物件費	-	70,639	-	国庫支出金	-	0	-
	維持補修費	-	0	-	都支出金	-	0	-
	扶助費	-	0	-	分担金及び負担金	-	0	-
	補助費等	-	728	-	使用料及び手数料	-	0	-
	減価償却費	-	0	-	その他	-	0	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-	行政収入合計(a)	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	4,117	-	行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 271,299	-
	その他行政費用	-	0	-	金融収支差額(d)	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	271,299	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 271,299	-
	特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 271,299	-
備考								

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
①	入館者数	1,288,224	1,271,337	1,212,764	1,600,000	1,800,000	ゆいの森あらかわ及び各図書館の入館者数の総計
	区民一人当たりの図書館運営経費(円) (H29.4.1現在)				1,270	1,000	(ゆいの森事務管理費+地域図書館管理費の当初予算)÷区民総数
	おはなし会の参加者数	5,266	4,931	5,092	5,100	5,900	ゆいの森あらかわ及び各図書館のおはなし会参加者数の総計

問題点・課題	・地域に根ざした特色ある蔵書づくりに基づき、各館の分担収集を進め、区民の知的好奇心を満たす新鮮で魅力ある書架構成を行うには、図書館職員の選書能力の向上及び図書情報と社会情勢に対する日々の研鑽が重要である。 ・利用者ニーズや地域情報を把握し、特色ある事業を検討する必要がある。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 全館直営で実施しているのは荒川区のみ

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	—	—	俳句コーナーをはじめ、各地域の特色を出したコーナーの充実を図る。
②			全庁的な情報や近隣の商店街の情報などを収集し、地域住民に積極的に情報発信を行うコーナーを充実させる。
③			各館を中心とした街なか図書館を展開する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	地域図書館の魅力をさらに発揮できるよう、各館の利用者や地域の特性を踏まえた資料収集や独自の取組を実施する。

議 決 状 (要旨)	平成28年度決 ちの森あらかわ開設以降の地域図書館のあり方について
---------------	-----------------------------------

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	05-05-03	戦略プラン	○協働	●業務	○財務	○人事
事務事業名	図書館施設の改修	部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	中野	担当	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-03-01	営繕費（一般分）					
	01-03-02	営繕費（施設改修分）					
事務事業の種類	○新規事業（○29年度 ○28年度） ○建設事業 ●それ以外の継続事業						
開始年度	●昭和 ○平成 37年度 根拠 荒川区公共建築物中長期改修実施計画						
終期設定	○有 ●無 年度 法令等 荒川区公共施設等総合管理計画						
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準 計画区分 ○計画 ●非計画						
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進				
目的	図書館施設の適切な修繕、改修を行い、施設の長寿命化を図ると共に、安全面での利用者サービスの向上を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	・設備更新、大規模改修については、利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら、計画的に実施する。 ・小破修繕については、不具合の状況に合わせ、必要な修繕を各館ごとに実施している。						
経過	図書館施設の主な施設改修工事 【平成27年度】 ・南千住図書館 空調設備部品交換修繕 4,320,000円 【平成28年度】 ・南千住図書館 非常用放送設備修繕 3,422,500円 ・尾久図書館 防火シャッター修繕 3,002,400円 ・町屋図書館 外壁・トイレ改修工事 34,586,558円 ・日暮里図書館 外壁改修工事 16,183,486円 【平成29年度】 ・南千住図書館 中央監視装置交換 4,860,000円 ・日暮里図書館 空調設備等改修 221,516,000円						
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 営繕課に執行委任して工事実施（大規模修繕については所管課で対応）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額		72,715	22,263	23,168	22,425	4,320	106,276	225,097
決算額（29年度は見込み）		71,463	20,721	21,504	20,748	4,320	71,040	225,097
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	全館改修工事件数(件)	9	4	3	1	1	3	2
	入館者数(人)	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,288,224	1,271,337	1,212,764	1,600,000

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	南千住空調設備修繕	4,320	工事請負費	町屋トイレ・日暮里屋上防水工事	115,714	家屋修繕費	南千住中央監視装置交換	48,600
						委託料	日暮里設計委託料	13,004
							日暮里資料運搬委託料	6,370
							日暮里改修工事	200,772

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	給与関係費	-	17,458	-	地方税	-	0	-
	物件費	-	0	-	国庫支出金	-	0	-
	維持補修費	-	19,721	-	都支出金	-	0	-
	扶助費	-	0	-	分担金及び負担金	-	0	-
	補助費等	-	0	-	使用料及び手数料	-	0	-
	減価償却費	-	0	-	その他	-	0	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-	行政収入合計(a)	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	367	-	行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 72,682	-
	その他行政費用	-	35,136	-	金融収支差額(d)	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	72,682	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 72,682	-
	特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 72,682	-
備考	その他の行政費用の主なものは、町屋図書館のトイレバリアフリー改修工事である。							

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度 見込み	目標値 (38年度)	
①							
②							
③							

問題点・課題	・南千住図書館は、照明、空調等の改修については、荒川ふるさと文化館と併設のため、実施時期を調整する必要がある。 ・尾久図書館は、宮前公園内に新尾久図書館を整備する。 ・町屋図書館は、東京都の都営住宅の建替えの動向を注視していく。 ・日暮里図書館は、平成29年度に大規模改修を予定している。						
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)						

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む 具体的な改善内容	平成28年度に実施した 改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	町屋図書館のトイレのバリアフリー化、日暮里図書館の屋上外壁防水工事を実施する。	南千住の非常用放送設備交換、尾久の防火シャッター交換、町屋のトイレのバリアフリー化、日暮里の外壁改修工事を実施した。	南千住図書館の中央監視装置の交換ならびに日暮里図書館のリニューアル工事を実施する。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
推進	推進	魅力ある地域の図書館の実現に向け、区の中長期改修計画及び荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方を踏まえ継続して取り組む必要がある。

況 議 会 (要 質 問 状 旨)	平成29年度予 町屋図書館の今後の建替え予定について 日暮里図書館の大規模改修の内容について
-------------------	---

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード		05-05-04		戦略プラン		○協働 ○業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	新尾久図書館の整備		部課名		地域文化スポーツ部地域図書館課		課長名	
			担当者名		村上		内線	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）		01-01-01		新尾久図書館整備事業				
事務事業の種類		●新規事業（○29年度 ●28年度）		●建設事業		○それ以外の継続事業		
開始年度		○昭和 ●平成		28年度		根拠		
終期設定		●有 ○無		32年度		法令等		
実施基準		○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分		○計画 ●非計画		
行政評価事業体系		分野		V		文化創造都市		
		政策		10		活力ある地域コミュニティの形成		
		施策		03		「読書のまちづくり」の推進		
目的	現在の尾久図書館は、開設から40年以上経過し、老朽化したため、宮前公園内に新たに整備する。整備に当たっては、地域の図書館としての魅力がさらに高まるよう、従来のハード面、ソフト面のサービスに加え、今後の図書館に必要な機能を兼ね備えた施設になるよう検討し、地域の区民や、宮前公園の利用者に親しまれ、地域のランドマーク的な施設になるようにする。							
対象者等	図書館利用者							
内容	【（仮称）宮前公園内新尾久図書館のコンセプト】 ①宮前公園内につくる地域の区民が日常的に利用できる身近な図書館 飲食コーナー、バリアフリー、安全性確保 ②地域における生涯学習活動の拠点 地域に関する資料、荒川区や地域にゆかりのある文学作品・文化芸術 ③地域内の小・中学校、幼稚園、保育園、ひろば館、ふれあい館、高齢者施設等との連携、交流の拠点 子どもから高齢者まであらゆる区民の方が読書に親しめる機会の提供、ネットワークの充実 ④地域交流や情報収集・発信の拠点 区役所各部署と連携した取組の提供、図書館ボランティアをはじめとする地域活動拠点							
経過	・平成28年度 基本設計 測量、地盤調査 ・平成29年度 実施設計							
必要性	図書館サービスの更なる充実のため必要な事業である。							
実施方法	（3委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 設計とともにプロポーザルにより選定した業者に委託して実施している。							

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額						-	40,250	15,956
決算額（29年度は見込み）						-	37,624	15,956
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	入館者数（人） 尾久	162,552	156,031	150,545	154,787	157,499	166,483	170,000
	個人貸出者数（人） 尾久	292,827	280,788	265,940	266,202	273,043	259,267	265,000

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
			報償費	評価委員謝礼	245	報償費	アドバイザー謝礼	156
			食糧費	評価委員会飲食物	5	委託料	実施設計業務委託	15,800
			委託料	基本設計業務委託	40,000			

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	給与関係費	-	5,044	-	地方税	-	0	-
	物件費	-	4	-	国庫支出金	-	0	-
	維持補修費	-	0	-	都支出金	-	0	-
	扶助費	-	0	-	分担金及び負担金	-	0	-
	補助費等	-	245	-	使用料及び手数料	-	0	-
	減価償却費	-	0	-	その他	-	0	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-	行政収入合計(a)	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	106	-	行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 5,399	-
	その他行政費用	-	0	-	金融収支差額(d)	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	5,399	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 5,399	-
	特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 5,399	-
備考								

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
①							

問題点・課題	- 今後の地域図書館で充実すべき具体的機能を備え、地域に根差した新しい事業展開が実施できるようハード、ソフトを検討していく必要がある。 - 運営体制やサービスについても検討していく必要がある。
他区の実施状況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	年度内に基本設計を終了させる。	基本設計 ・学校、道路公園課、保育課等、関係各課と調整して基本設計を進めた。	実施設計 ・関係各課と連携して、実施設計を進めて行く。
②	魅力ある図書館としていくため、設計と同時にソフトの面においても計画的に検討を進める。	ソフトの計画 ・基本計画に必要な機能、運用方法等を検討した。	ソフトの計画 ・機能、運用方法、移転計画等を引き続き検討する。
③	区民の活動拠点となる施設を目指し、区民、学識経験者等からのヒアリングを実施する。	ヒアリング ・中学校、ボランティア、障がい者団体からヒアリングを実施した。	ヒアリング ・各関係者、区民、学識経験者等から引き続きヒアリングを実施する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	区民や宮前公園の利用者に親しまれ、地域の図書館としてシンボリックな建物になるよう設計、建設準備を進めていく。

況議(要質問状)	平成29年度 文教子育て 工事期間、工事経費について
----------	----------------------------